

2024.03.03. 聖書預言・アップデート

私たちは改めて何のために戦っているのか？

JD ファラグ牧師

一緒に祈りましょう。私たちにあるものはすべて、主よ、あなたのおかげです。些細なことも、大きなことも、私たちには時に気づかないすべてのことにも感謝します。あなたが祝福してくださったこの美しい場所に集えるこの時間を感謝します。今朝、御言葉で私たちに語りかけてくださいますか？イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。

おはようございます。ようこそ。どうぞご着席ください。今日、来てくださり大変嬉しいです。オンラインでご覧の方も歓迎します。始める前に、いくつかお知らせです。まずは、3月5日、今度の火曜日に祈り会をします。6時55分くらいから賛美を始め、それから私は簡潔にメッセージします。(笑) 簡潔にね。

マタイの福音書から、タイトル『祈らない方法』です。その後、時間の許す限り、牧師たちに祈りのために上がってもらい、また時間の許す限り、教会全体で祈ります。それが火曜日です。木曜日は、スティーブ・サントス牧師と奥さんのキムを迎え、「イエスは、マウイ島ラハイナを愛しておられる」のパート2をします。特にオンラインの方には、ちょっと違った開始時間ですが、いつものように7時に賛美を始めるのではなく、6時50分か55分に賛美を始めます。ぴったり7時に、スティーブと私がここに上がり、前回と同じように、午後7時に開始します。ですから、是非参加されるのをお勧めします。そしてもちろん、主の御心なら、そして私たちがまだここにいるのなら、翌14日の木曜日、エゼキエル書の節ごとの学びを再開し、学び終える予定です。

では！日曜日は2つの礼拝があって、これは第一礼拝、「聖書預言・アップデート」、毎週長年してきています。第二礼拝は、「説教」、神の御言葉を節ごとに学ぶ「聖書の学び」です。今日は本当にギリギリのところで行きます。私たちは現在、「ユダの手紙」で文字通り、節ごとに学んでいて時には1節の学びもあります。でも今日は14節から19節までです。そうなんですよ！私たちが学ぶこと、私の願いは、学びが励ましになることで、特に、悪意ある操り屋と私が呼ぶ人たちからの受け手の人たちに対して、神がいつ、なぜ、何を、どのように、最終的言葉を下されるのかを思い起こさせる事。『彼らはしていることから逃げられない。』逃げられるように見えるかもしれませんが、そうではありません。それが第二礼拝で、オンラインの方、ハワイ時間11時15分からライブ配信します。ここに残られる方は、10時45分から賛美を始めますよ。もちろん、それは牧師がそれまでに、「聖書預言・アップデート」を済ませているのが前提です。

最後に、ユーチューブやフェイスブックでご覧の方、今からウェブサイト IDFarag.org へ直接行き、検閲なし、中断なしの、今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごと是非ご覧ください。ユーチューブやフェイスブックでのライブ配信は、本編前だけだからです。

それでは、始めましょう。患難時代前携挙の前夜が終わる直前に重大な預言的意味を持つ懸念すべき関心事について、最後まで私の話を聞いてくださるよう謙虚にお願いしたいと思います。私が話しているのは、信者を説得し、納得させることで、間違った戦いをさせ、支持を得る教会内の動きです。すなわち、キリスト教ナショナリズム (CN) の名目で、アメリカを取り戻すという反撃で、そこに新使徒改革運動 (NAR) が同居しています。どのように？ 政治的権力を得るため、政治的目的のために彼らのクリスチャン形式を押し進め、その結果偽預言者や偽使徒による偽預言が行われる。私が何か誤解されないように、急いで言いますが、これから言うことを聞いてほしいのです。神があなたを政治の舞台に召されたのなら、その召しに忠実に従うのが一番です。しかしながら、神があなたを政治の舞台に召されたのなら、注意してください。あなたには、アメリカの魂を救うという世俗的な課題ではなく、アメリカにいる魂を救うという神聖な使命が与えられています。ここに問題があります。最も深刻です。多くのクリスチャンがこの間違った戦いに身を置いているという事実から、最終的には正しい戦いに負けます。間違ったいくさ／正しいいくさ

そのため私は、この質問を選び、使っています。『改めて、私たちは何のために戦っているのか？』

主は私の心を知っておられます。それが私の心で、希望で、祈りで、この質問が、いわばそれ自体が答えと

なり、まっすぐ説き明かされ、聖書的答えとなること。ここでは、CN（キリスト教ナショナリズム）と NAR（新教徒改革神学）の両方について、簡単な説明と定義をするので、まず最初に、私たちが常に第一に行くべきところに行きたいと思います。それは直接の神の御言葉へ行くこと、とりわけ救い主ご自身の言葉に。

「ヨハネの福音書 18 章」を一緒に見てくれませんか？ 33 節から読みます。これはイエスの地上での生涯、公のミニストリーの終盤です。イエスは十字架に行き、人類の罪のため十字架にかけられようとしています。しかし、イエスは今、裁判にかけられます。このピラトは、この事態から逃れるため、あらゆることを試み、止めようとしています。イエスが無実であることを知っているからです。33 節、

— ヨハネ 18 : 33 —

そこで、ピラトは「再び」総督官邸に入り、イエスを呼んで言った。「あなたはユダヤ人の王なのか。」

— ヨハネ 18 : 34 —

イエスは答えられた。「あなたは、そのことを自分で言っているのですか。それともわたしのことを、ほかの人々があなたに話したのですか。」

ピラトを気の毒に思います。頼みますよ～、でしょ？ 戦いの話をすれば、ピラトは、この戦いに負けますよ。それでイエスは、彼に質問を投げられました。ピラトが答えます。35 節、

— ヨハネ 18 : 35 —

ピラトは答えた。「私はユダヤ人なのか。・・・」

それからピラトはこう言います。

・・・あなたの同胞と祭司長たちが、あなたを私に引き渡したのだ。あなたは何をしたのか。」

あなたは何をしたのですか？

— ヨハネ 18 : 36 —

イエスは答えられた。・・・

皆さん、非常に注意して聞いてください。イエスが何と答えられたのか、だけでなく、イエスがどのように答えられたか、何をもって答えられたかを。

・・・「わたしの国はこの世のものではありません。もしこの世のものであったら、わたしのしもべたちが、わたしをユダヤ人に渡さないように戦ったでしょう。しかし、事実、わたしの国はこの世のものではありません。」

— ヨハネ 18 : 37 —

そこで、ピラトはイエスに言った。「それでは、あなたは王なのか。」イエスは答えられた。「わたしが王であることは、あなたの言うとおりで。・・・」

訳すと、ピラトよ、あなたが言う通り王であるが、（ここは）違う王国だ。ピラトよ、あなたが言う通りわたしは王である。その通り、わたしは王である。（ここは）違う王国だが、わたしが王であるのは正しい。

・・・わたしは、真理について証しするために生まれ、そのために世に来ました。真理に属する者はみな、わたしの声に聞き従います。」

それからピラトの有名な箇所、38 節、

— ヨハネ 18 : 38 —

ピラトはイエスに言った。「真理とは何なのか。」

こう言ってから、再びユダヤ人たちのところに出て行って、彼らに言った。「私はあの人に何の罪も認めない。わお！ 真理に属する者であること真理である救い主の声を聞くことが何よりも重要です。これが故に、改めて、私の話を聞いてください。この真理は、この終わりの日に CN（キリスト教ナショナリズム）と NAR（新教徒改革神学）が教会にもたらす手ごわい脅威に関して、私たちの理解を絶対的かつ明確にするために重要なものです。皆さん、それが分かりましたか？ OK。イエスはそれをはっきりさせておられます。はっきりとこう仰っています。「イエスの王国はこの世のものではなく、この世にもない。」これは単なる言葉遊びではありません。実際、イエスはそれを繰り返し、次のように強調して仰います。

「もし御国がこの世のものなら、この世で御国のため戦っているイエスのしもべたちによって証明される。」なぜイエスはそれをそんなふうに仰るのか？ 理由は、イエスの御国はこの世のものではなく、イエスのしもべたちは、この世にいるために戦っているのではないから。だからもう一度聞きます。

「私たちは、何のために戦っているのか？」キリスト教ナショナリズム (CN)とこの全国キリスト教議員連盟のウェブサイトに入ります。これは "About Us/私たちについて"の見出しの下にある"私たちの歴史と使命"引用するので聞いてください。

一引用一

「私たちは、より多くのクリスチャンが地方選挙や州選挙に立候補すれば、アメリカはもっと良くなると信じている。・・・(会衆の一人：アーメン) (会衆：笑) よろしい。そう皆さん、それについては、ちょっと待ったほうがいいかもしれません。

・・・私たちは、国のあらゆるレベルで、もっと敬虔な指導者を選出する必要がある。私たちは、わが国のユダヤ・キリスト教の基盤を回復するため、できる限りのことをしている。私たちは、わが国のあらゆるクリスチャンが、神と国のために団結し、共に立ち上がるよう呼びかける。」イエスはどこ？ 神と国のため？ 待つて、何の神？何の国？ すべてが曖昧です。なんだか漠然としていて、、、聞こえは良いですよ。すごい！これは説教になる。そして説教されている。表向きは正しいように聞こえます。"神と国のための戦い"へ～ N から NAR に行っていていいですか？ ええ、そうします。NAR について。このダウンロード可能な 204 ページの PDF、読むのは勧めません。私は読んでいません。参考にしていただけです。この間違っただけの教えと間違っただけの預言について調査することに興味がある人には、リンクを貼っておきます。理解すべきは、これらの預言者たちは、イザヤの時代、エレミヤの時代、エゼキエルの時代同様、偽りの預言をしています。私はエレミヤが預言していたことを思い出します。彼は神の預言者、真の預言者でした。彼は、嘘を預言する数多くの偽預言者たちに直面していました。「あなたがたは嘘つきだ。」と。で、イスラエルの民は、こんな風です。「私たちに心地よいことだけ預言してよ。」エレミヤの教会には誰も行かなかった。誰も彼の「聖書預言・アップデート」にはチャンネル登録しません。彼は厳しい真実を語っていたからです。そして、民はそれを望まなかった。彼らは、偽預言者たちが自分たちの聞きたいことを話してくれることを望んでいました。「お～」私は先走っていますね。私が、、、画面に出します。これをとり戻してみます。危ないところでした。そこまで行きかけましたね。しかし、これは『7つの山の預言』というタイトルの本です。何て？

196 ページと 197 ページを見てください。クリスチャンがそのために戦い、支配すべき 7 つの公の場の列挙「七つの山の預言早見表」が掲載されています。私が "支配・主権" という言葉を使ったのは、彼らが "支配・主権" を使っているからです。彼らが "支配・主権" という言葉を使うのは、彼らが支配・主権のために戦っているからです。なぜ彼らは支配・主権のため戦うのか？ 権力が欲しいからです。彼らは支配したいから。彼らは権力の座を求めていて、ゆえに、公共活動の 7 つの柱、または 7 つの山。彼らはそれらを支配し、この世の自分たちの王国のためそれらの主権を持ちたいのです。彼らはそのために戦っています。留意すべきは、CN と NAR は、"支配神学"または"キングダム・ナウ神学"として知られるものを再梱包、再ブランド化したものです。どれも一貫して聖書に反します。偽預言者たちや偽使徒たちの偽りの教えや偽預言から、ひとつだけの引用するので聞いてください。これは、(伝道者 1:9)

"日の下に新しいものはない使徒改革運動"です。引用します。聞いてください。

一引用一

「私たちが地上を支配するまで、これは終わらない。創世記は『すべてを支配する者』で始まり、黙示録は『我々は地上を統治する』で終わる。」うわっそれは文脈を完全に無視しています。画面は前述の「7つの山の預言」の画像で、「7つの山を取り戻す」とも呼ばれています。理解することが重要なのは、彼らはこれを神からの命令だと考えています。だから彼らは、帝国を取り戻すために戦うのです。"帝国"という単語を覚えておいてください。メディア帝国、彼らの王国のための。それは、彼らが力を持ち、支配する王国。それが分かりましたか？ 皆さん、大丈夫ですか？ 皆さん大丈夫には見えませんよ。完全情報開示。まだ始めたばかりです。ここからは下り坂になりますから、だから、もっと悪くなりますよ。7つの山、あるいは言わば帝国と呼ぶべきものは、以下の通りです：

ビジネス、政府、家庭、宗教、メディア、教育、エンターテインメント。この真相は、キリスト教は目的のための手段に過ぎず、結局のところ、支配者になり権力の座につくことなのです。キリスト教ではありません。キリスト教は彼らの目的を達成するための道具で、メカニズムで、手段で、触媒です。今、私が痛感しているのは、表面的には、繰り返しますが、神に忠実な指導者を選ぶことが良いことのように聞こえますが、しかしながら、それは、聖書的にも預言的にも、必ずしも神のことは限りません。なぜか？ なぜなら、神の御言葉も御言葉の神も、クリスチャンがこの世の帝国を支配することを命じてはおられないからです。実は、その逆が真実です。この7つの帝国は、この墮落した世を象徴していて、私たちは世にいますが、世のものではなく、なんであれ、世を愛するのでもありません。使徒ヨハネの語りを聞いてください。聖書に戻ることをお許しください。嫌味だったでしょう？ 結構です。必要なら、私はもっと嫌味になります。「第一ヨハネの手紙」は、「ユダの手紙」に先立ち、第一・第二・第三ヨハネの手紙の節ごとの学びを学び終えましたね。聖霊によって、ヨハネが書いています。第一の手紙の、2章15節、

— 1ヨハネ 2：15 —

あなたがたは世も世にあるものも、愛してはいけません。もしだれかが世を愛しているなら、その人のうちに御父の愛はありません。

— 1ヨハネ 2：16 —

すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢は、・・・(権力と地位と支配欲)・・・御父から出るものではなく、世から出るものだからです。

— 1ヨハネ 2：17 —

世と、世の欲は過ぎ去ります。・・・(世は死んでいっています。)・・・しかし、神のみこころを行う者は永遠に生き続けます。

— 1ヨハネ 2：18 —

幼子たち、・・・

興味深いことに、ヨハネが聖霊に導かれ、世を愛してはならないということを書いたと思ったら、今度は一転して反キリストについて語ります。

— 1ヨハネ 2：18 —

幼子たち、今は終わりの時です。反キリストが来るとあなたがたが聞いていたとおり、今や多くの反キリストが現れています。それによって、今は終わりの時であると分かります。

私たちが「第一ヨハネの手紙」のこの箇所を学び、それを解説したとき、このように理解しました：どうやって、終わりの時が分かるのですか？ これです。どうやって、終わりの時が分かるのですか？ 彼らは何年、何世代にわたって終わりの時だと言い続けてきた？ それを第二礼拝の「ユダの手紙」で話しますよ。いいえ、私たちは分かります。考えるのではなく、いや、私たちは分かります。終わりの時だと推測したり、主張するのではなく、そうではなく、私たちはこれが終わりの時だと分かります。なぜか？ 反キリストたちがいるから。どうかおつきあいください。反キリストの定義を"キリストの代わりに"の意味を取り入

れず、"キリストに敵対する" だけに限定するのは大きな誤りだと思います。つまり、あなたは、キリストを置き換えた。それが反キリストです。キリストを何に置き換えているのか？ 神と国!!! 叫んだから、誰か起こしちゃったかな？ そうならごめんなさいね。私の話を聞いて眠くなると言ってくれる人もいます。「どうすればそうなるの？」 私は睡眠薬というより目覚まし時計ですよ。「ヤコブの手紙4章4節」はどうですか？ ヤコブのこの1節だけ話していいですか？ なんとというか、ヤコブは、とても機転が利いて、とても繊細で、とても優雅で、彼はとても親切。いいえ!!! 初っ端から言います。「節操のない人たち！ 不貞のやからよ!!!」

— ヤコブ 4：4 —

節操のない者たち。世を愛することは神に敵対することだと分からないのですか。世の友になりたいと思う者はだれでも、自分を神の敵としているのです。

どうですか？ 世と仲良くしない！ 実際に、世をブロックしなさい！ そうすれば、彼らはあなたに友達リクエストを送ることはできない。世の友になりたいと思う者はだれでも、自分を神の敵としているのだから。神の敵です。強烈すぎます？ さらに悪化すると言ってあったでしょ。「マタイの福音書10章39節」、イエスが話しておられます。有名な箇所ですね。

— マタイ 10：39 —

自分のいのちを得る者はそれを失い、わたしのために自分のいのちを失う者は、それを得るのです。

これはクリスチャン信仰の逆説です。この信仰の逆説を早く理解し、受け入れれば受け入れるほどいいのです。上る道は下る道。生きたいなら（自分に）死ぬ。自分のいのちを保ちたいなら、この世での立場を失え。それに対して（自分に）死ぬなら、救われます。でも、あなたはそれを守り、そのために戦おうとするなら、その戦いには破れます。「ヨハネの福音書17章」、「ヨハネの福音書17章」には、主の祈りがありますが、私達が親しみを込めて呼ぶマタイの福音書の「主の祈り」ではありません。そうではなく、これは文字通り、救い主が十字架につけられる前夜に、子なる神である主が、父なる神に捧げた祈りです。6節から読みます。イエスは祈りながらこう仰いました。

— ヨハネ 17：6 —

あなたが世から選び出して与えてくださった人たちに、わたしはあなたの御名を現しました。彼らはあなたのものでしたが、あなたはわたしに委ねてくださいました。そして彼らはあなたのみことばを守りました。

— ヨハネ 17：9 —

わたしは彼らのためにお願いします。世のためにはなく、・・・

うわ〜！！ わたしは、彼らのために祈っています。わたしは世のために祈っていません。

・・・あなたがわたしに下さった人たちのためにお願いします。彼らはあなたのものですから。

11節、

— ヨハネ 17：11 —

わたしはもう世にいません。彼らは世にいますが、わたしはあなたのもとに参ります。聖なる父よ、わたしに下さったあなたの御名によって、彼らをお守りください。わたしたちと同じように、彼らが一つになるためです。

皆さん、分かりましたか？ それを理解しましたか？ イエスはこの世にいる私たちのために祈ってくださっています。イエスはこの世を去ろうとしておられ、もうこの世には留まられません。そして、まだこの世にいる私たちを心配しておられます。私たちのために祈ってくださっています。どうか、御父よ、彼らをお守りください。彼らを何から守るのか？ 彼らは世の者ではなく、彼らがいる世の欺瞞から。もっとうまく

言えたかもしれませんが、それはそれとして、次に進みます。最後に13節から18節まで、イエスは祈っておられます。

— ヨハネ 17：13 —

わたしは今、あなたのもとに参ります。世にあってこれらのことを話しているのは、わたしの喜びが彼らのうちに満ちあふれるためです。

— ヨハネ 17：14 —

わたしは彼らにあなたのみことばを与えました。世は彼らを憎みました。わたしがこの世のものでないように、彼らもこの世のものではないからです。

それが理由です。ちなみに、個人的に取らないでください。世から憎まれるなら、喜びなさい。彼らはあなたを憎んでいます。おお、驚く人もいるでしょうね。「待ってください。世は私を憎んでいるの？」その通り！！ 世があなたを愛しているとでも？ 頼むわ～ いいえ、世から憎まれています。なぜか？ イエスと結びついているからです。あなたではなく、彼らはまずイエスを憎みました。それが彼らがあなたを憎む理由です。皆さんの幾日かを台無しにしたかもしれないことは分かっていますが、再度、さらにもっと台無しにします。15節、

— ヨハネ 17：15 —

わたしが願うことは、あなたが彼らをこの世から取り去ることではなく、(再度→) 悪い者から守ってくださることです。

— ヨハネ 17：16 —

わたしがこの世のものでないように、彼らもこの世のものではありません。

— ヨハネ 17：17 —

真理によって彼らを聖別してください。あなたのみことばは真理です。

— ヨハネ 17：18 —

あなたがわたしを世に遣わされたように、わたしも彼らを世に遣わしました。

私たちは世にいるけれど、世のものではないという印象を受けますか？ OK。これで、ぐると回って、今日私たちの前にある質問をまっすぐ説き明かし、聖書的に答えることへと戻します。『私たちは何のために戦っているのか？』間違った王国のために間違った戦いをしているだけでなく、知らないうちに、正しい戦いや正しい王国に敵対して戦っている人がいるかもしれないと言ったらどうでしょうか？ それが話の向かう先です。終末論の特異性は、終末論とは終末の出来事を学ぶ学問ですが、神の御言葉がこのことを、「信仰の良い戦い」という定義のうちに終末論的に具体的に語っておられることは、間違いありません。パウロは、人生の最期に、実際、彼は自分の命の日数が残り少なくなっていることを知っていて、そして、これが彼の最後の手紙、「第二テモテへの手紙」です。4章6節から、彼が聖霊によってテモテに語ることを聞いてください。

— IIテモテ 4：6 —

私はすでに注ぎのささげ物となっています。私が世を去る時が来ました。

— IIテモテ 4：7 —

私は勇敢に戦い抜き、・・・

含意、推論：良い戦いではない戦いがある。私は勇敢に（良い戦いを）戦い抜きました。現在完了形です。走るべき道のりを走り終えました。現在完了形。含意、推論：レースを走り終えようとしている。信仰を守り通しました。含意、推論：守るべき信仰がある。

あとは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。その日には、正しいさばき主である主が、それを私に授けてくださいます。私だけでなく、主の現れを慕い求めている人には、だれにでも授けてくださるのです。

「現れ」再臨じゃなくて？ ええ、「現れ」、携挙です。質問。パウロが"信仰の良い戦い"を、"主の現れを待ち望むすべての人"と結びつけるのは、興味深くないですか？ もう1つ聞いてもいいですか？ パウロの信仰の良い戦いは、天の御国のためだったのか、それとも地上の御国のためだったのか？ このことで話の向かう先は、非常に注意して聞いてください。「患難時代前携挙の主の現れ」という健全な教理は、CN や NAR の偽りの教えに従う人々とは相容れません。本当にそう考えれば、そして一緒に考えて欲しいのですが、合わないのです。なぜなら携挙を待ち望みながら信仰の良い戦いをするのではなく、CN と NAR の支持者はこう言うからです。これは引用ですが、「その前にやるべきことがたくさんある。」何ですって？ このことは、終末論的スケジュールを、誤って単独でバラバラにし、混乱させ、遅らせます。キリスト教ナショナリズム (CN) がまず支配権を握るまで、それまでは、携挙は起こらないからと。あなたは、たった今マタイの福音書 2 4 章の主人の戻りを遅らせました。言い換えれば、おお、、うっ～ 心が沈みますか？ こんな感じです。「おお、その前にやるべきことがたくさんあるの？」行いですか？ 救われるために。おお、行いによって救われるの？ やるべきことがある。私たちは救われました。行いで、救われた？ ここで置いておきます。あなたと聖霊の間に任せます。繰り返しますが、考えてみてください。もしクリスチャンが、まず支配権を握らねばならないのなら、患難時代前携挙とは相容れず、この間違った戦いを踏まえると、もはや通用するものではありません。なぜなら、そう再度この引用：「携挙が起こる前に、まずはやるべきことがたくさんある。」(そんな聖書のどこにあるの？) パウロはそんなメモを受け取らなかった！ 弟子たちは誰もそんなメモを受け取っていません。あえて言えば、受肉なされた神である救い主イエス自身も、そんなメモを受け取ってはいません。なぜなら、それは私たちが聖書を通して数多く見つけられるすべてに反しているからです。皆さん、大丈夫ですか？ よろしい。ちなみにこれがイントロですよ。ええ、そう。分かっています。分かっています。私たちはこれを乗り切りますよ。さらに追い打ちをかけるのがこれです。この間違った戦いは、真理を語ろうとする者たちと戦い、攻撃することとセットです。というのも、それはまた、彼らが自ら課した使命を乱すからです。患難前携挙は彼らにとって問題なのです。邪魔なんです。ですから、今なら納得がいきます。それを弁解するのではなく、説明することで、個人的には本当に目からウロコでした。患難前携挙がこれほどまでに激しく攻撃されるのはなぜか。患難前携挙は、権力と支配を求める彼らの戦いを阻止するという意味で、理にかなってきています。これを見てください。「我々は神と国のために戦っている！」で、あのラップがなると？ あれは何だったんだ？ おお、必要ない。気にしないで。私のポイントを説明するためのバカな描写を許してください。彼らが(死にゆく)何かを取り戻し、戦おうとしている最中に携挙が起こるのは、彼らにとってどれほど不都合です？ これって、、ちょっといい？ とにかく話を進めるのに、なぜわざわざ聞くのか？ 私はボディビルのことを考え、私が心から愛し、尊敬しているこの教会の兄弟たちと話しました。今、君たちを見ませんからね。悪いけど、こっちを向くよ。こっちにボディビルする人います？ 君たちが大好きです。私は.....聖なる意味で、君たちの鍛錬に敬意を表します。私はそれをしない。私は鍛えていません。外食しますよ。出来る時は。— (笑) — 私は考えます。この身体を見て考えます。そう、もう遅すぎる。— (笑) — まるで神のように、よし、自分を鍛錬して、兄弟マイクや兄弟クリスみたいに、みんなと一緒にジムに行く。よし、やろう！ さあ、牧師さん、行きましょう！ ボディビルをするんだ！ そして、この肉体を築き上げ、携挙が起こり、新しい肉体を手に入れる。「何のためだったのか？」— (笑) — あれは一体何だったんだ？ 何と時間の無駄だったのか。どのみち新しい体が手に入るんだから。だからといって、これは許可証ではないので、、ここは気をつけないとね。心臓発作ハンバーガーとフライドポテトはかなりイケそうだね。オニオンリング付きで。オニオンリングもお忘れなく。— (笑) — でも理解できますか？ 聞いてください。私のユーモアを奪わないで。「箴言 17 : 22」にあるように、それが治療や薬、癒しになるからです。「そんな面白いことはやめて」と言われたら--。(JD 説教壇から去る) — (笑) — できませんよ。そんなこと言わないでね。だから言わせてください。そう、彼らは、死にゆくもののために戦っています。彼らは生命維持装置を維持しようとしています。この世は過ぎ去っていきます。なぜそれを生かそうとするのですか？ なぜそんなに戦っているのですか？ 私は不思議に思います。補足で、心からこう言いたいのは、主は私の心を知っておられますが、もし教会が、あれだ

けの時間、あれだけのエネルギー、あれだけ要望されるすべての代わりにただ祈ったらどうなるのか？ わお！ 何が起こるのでしょうか。それはどうなるのでしょうか？ 多分、私たちには知る由もないでしょう。では、今日の残りの時間は、これらすべてについてより具体的に説明します。そのため、先に進むので、フェイスブックとユーチューブでのライブ配信をここで終了します。

一本編一

この最も深刻な問題について立ち上がり、発言する数少ない人物の一人である本土の牧師仲間からのEメールでの返信から始めたいと思います。私が彼に投げかけた質問は、このことを呼びかける者に対する攻撃についてです。そして彼は、次のように言いました。

一引用一

「攻撃について、私個人に向けられたものではありませんが、前千年王国説と患難前携挙の教理に向けられたものです。それはおもに、拡大しつつある後千年王国説キリスト教ナショナリズム (CN)の運動から生じています。」彼が書いたこの文章を読んで、私は目からウロコでした。彼はこう言います。

「コロナは多くのものを壊した。牧師たちの正気もその一つでした。」ええ、痛烈な衝撃を受けました。彼はさらにこう説明します。「そのため、多くの人々が義務化と政府の行き過ぎた介入に動揺し、今ではキリスト教ナショナリズムの船に乗り込み、『我々（教会）は、この国の支配権を取り戻さねばならない』と言っているようです。」電球が切れると、どうなるかわかりますか？ すると突然こんな感じです。「そういうことか！」おお、私は今わかりました。このことについては、すぐに詳しく話しますが、今なら納得がいきます。つまり、私たちは、自分達が経験したことを通り抜けた。どうりで！ 再度、弁解ではなく、何らかの形で説明するためですけど、牧師たちがこうなるのも不思議ではありません。

「私たちは支配を取り戻す。あなたたちが私たちに支配し、制限したから。」ですから私たちは、、これは反応です。危機・反応・解決策 だからこれは、その危機に対する今の反応です。「我々はこの国の支配を取り戻さねばならない。」彼が書いているのは、「支配を取り戻す？ ある人は"キリスト教2.0/バージョンアップ"とさえ呼びました。・・・キリスト教2.0/バージョンアップ？ 私は、彼らのキリスト教2.0/バージョンアップ版には住みたくありません。・・・とにかく、私が目にする攻撃は、ほとんどがその陣営からのものです。彼らは喜んでNARと仲良くしている。彼らは神学において意見の相違があるものの、キリスト教ナショナリズム(CN)に衝撃を与える部隊を提供しているから。私を悩ませるのは、キリスト教ナショナリズム(CN)のために多くの堅固な人々、特に牧師たちが下準備されていること。」

一引用終了一

私が受け取ったもうひとつのメールを追加します。これはキャレン・ブルームからです。以前にも彼女のメールを引用したことがあります。彼女は、私たちの英語字幕起こし部門のチームメンバーの一人です。彼女のコメントはこうです。これは大変良いです。

一引用一

「私は、彼ら (CN、NAR) が、イエスが政治ではなく、罪からの救いと仲間関係の回復に関心を寄せている真のキリスト教を理解していないことを知っています。あなたが言ったことを思い出し、彼らのために祈っています。救われているか、いないかだけです。右派や左派ではなく。私はこの政治劇を深読みしすぎているだけかもしれませんが、彼らは、近いうちにやってくる何かのために、人々に準備をさせているのではないかと非常に不安に感じています。政治的救世主を通じ"アメリカを再び偉大に"することは、彼らが支持する愚かな宗教的思想の中でプラスだと考えるクリスチャンを、サタンは簡単に標的にできます。私たちは皆、アメリカ共和党偶像崇拝の代償を払い、私たちにふさわしい王を与えられるでしょう。NARの人々が選挙に立候補していて、彼らはキリスト教ナショナリズム (CN)と考えられている人たちのようです。この欺瞞がどのように結びついているのか、私にはわかるような気がします。"キリスト教ナショナリズム(CN)"あるいは"キリスト教国家"という言葉は、今や訳もわからずイエスの御名を、このアメリカの近代的国民国家に

押し付けています。そしてこの終わりの日、教会と”目覚めた”牧師たちが、NAR という新宗教を教え、今私たちのアイデンティティは、最初にイエスを通ることなく、イスラエルからまっすぐアメリカへとジャンプしてしまいました。・・・まったくその通りです。・・・この NAR に基づく宗教は、クリスチャンを、まだ流浪の民であるにもかかわらず、故郷に帰ったかのような自己満足に陥らせ、欺いています。・・・あなたがたは寄留者だと気づいていますか？ あなたは異国の地で流浪しているのですよ。・・・そして、これらすべての中に・・・(あ。。これは辛いです。が真実です。)・・・彼らは人々を地獄に送っています。」

続いてキャリンは、『米国は国家的離婚に向かう可能性があるのか』というタイトルの記事を紹介します。

記事は『アメリカ社会と政治には、南北戦争の古い戦線に沿った溝が広がっており、今回の選挙は事態をさらに悪化させる可能性がある』です。謙虚に愛を持って質問します。CN と NAR がアメリカを救うために推進し、預言していることそのものが、実はアメリカの離婚と破滅を招くものかもしれないとしたら？ 皮肉がわかりますか？ この点について、私はかなりの時間をかけて主に尋ねました。この4年間、本当にそうでした。多くの人たちと同じように、私はこの件で大切な友人を失いました。悪意に満ちた卑劣な誹謗中傷は言うまでもなく、私はこれが故、この受け手側でした。私は嘲笑されてきました。あえてこう質問をしたからです。「何かがおかしいと思うのは私だけ？」何が難しいかという、これらの政治的キリスト教集団に内在する誘惑的なパワーを理解していない私には、それが不可解なことです。ご存知の方も多いと思いますが、私は、いわゆるワクチンを支持しさらには推進し続けている牧師仲間たちに愕然とさせられ、率直に公言しています。しかし今、私はいわば預言的の点と点がつながり始めています。保守的なキリスト教ナショナリズム達 (CN)の動き、その中での影響力、その背後にある権力を。それがどのようにして生まれたのか、いつ生まれたのか、そしてより重要なのは、それが誰から生まれたのかです。極めて驚くべきことは、前世紀のドイツとこんにちのアメリカの間に、とりわけヒトラーの権力台頭を前にした教会の沈黙について、これらの類似性を描いている人々がいること。一般的に言って、ドイツの教会はひときわ沈黙していたにもかかわらず、今となって、皮肉なことに、ドイツの教会が加担していたことを示す証拠となっています。同じことを別の言い方で言います。ヒトラーの台頭を招いたのは教会の沈黙ではありません。教会が加担したのです。画面は、数カ月前の2023年9月17日、チャールズ・ガードナー氏が執筆した『イスラエル・トゥデイ』誌のスクリーンショットで、

タイトル：『衝撃的な事実』

「ドイツのペンテコステ派は1938年にヒトラーの人種法を支持した。」以下は、この息をのむような衝撃的な本書の抜粋です。

ー引用ー

「キリスト教会が、ホロコーストに加担したかどうかという問題は、それ以来、多くの議論の対象となっている。多くの信者は、ヒトラーのプロパガンダに屈した人々は、名目上のクリスチャンに過ぎず、本当の弟子ではなかったと考へ、自分を慰めたいのだ。真実が、もっと衝撃的だと知ったのは、ほんの10年ほど前のことだ。聖書の絶対的な権威を信じるといふ福音主義キリスト教徒でさえ、ナチ党の悪魔のような嘘に騙されたのだ。私の同僚は、ドイツのペンテコステ教会でさえ、ヒトラーの新しい人種法を支持する決議を1938年に可決したという証拠を突き止めた。ローマ人への手紙13章1節から7節などの聖句を参照しながら、(権威ある者に服従することについて)1938年の決議にはこうある(一部)、

引用：”私たちは国家の指導力と政府を尊重し、受け入れる。誠意をもって、私たちは、神の御心と私たちの主の言葉と精神に従い、すべてのキリスト教徒と共に地上の権力者に尽くすべきあらゆる忠誠と服従を約束する。”

その後、こう付け加えています。

ー引用継続ー

「ユダヤ人が私たちの民族の共同体から、また他の民族から導かれ出て行くことは、私たちにとって、神の摂理と神の御心に従った過程である。1936年のニュルンベルク(人種)法に準拠した教会憲法の改正として、この決議は、ドイツ全土のユダヤ人が容赦なく攻撃され、虐待され、強制送還されたクリスタルナハト/

水晶の夜（ガラスが割られた夜）のわずか27日前に発効し、さらに悪いことが起こる道を開いた。・・・

引用続きます。素晴らしい、必読の記事です。リンクを貼っておきます。

・・・私は、何世紀にもわたって教会が行ってきた反ユダヤ主義について述べた。偉大な改革者マルティン・ルターでさえ、晩年はユダヤ人に対して敵対した。病床にあったことを理由に彼の行動を弁解する者もいるが。最近では、あらゆる条件が悪行の言い訳に使われる。そのような裏切り行為とは無縁だと思っていた人々が、ヒトラーにも妥協し、ユダヤ人を裏切っていたことを知ったとき、私は大きな衝撃を受けた。しかしドイツで起こったことが、私たち全員に思い起こさせるのは、ひとたび私たちがイエスから目を離してしまうと、それまで想定していた道德律をひっくり返すような世俗的「目覚め」の教理に心を毒され、いかに簡単に欺かれてしまうかだ。ヒトラーのスローガンは次の通り。（言いますよ。）

「ドイツを再び偉大に」

画面は、1934年1月4日（木）の『Green Bay Press-Gazette/グリーンベイ・プレス・ガゼット』に掲載された記事です。リンクを貼っておきます。その内容を引用します。

ー引用ー

「ドイツは苦しんでいた。平和は、戦争の悲惨な結果を取り除くことはできなかった。（第一次世界大戦）人的損失に加えて、心をかきむしるほどの戦争負債があった。ドイツは戦勝国への支払いを命じられた。借金負債は連合国によって減額されたが、毎年必要な金額を支払う努力を続け、ドイツ人たちはうめき声を上げた。彼らは不当な扱いを受けていると感じていた。出所したアドルフ・ヒトラーは、そのうめき声を利用した。彼は人々に言った。

『ドイツを再び偉大な国にする』

彼は、国土の困窮を、ユダヤ人、社会主義者、共産主義者、他者のせいにした。彼の熱弁は、彼の大義のための信奉者を増やした。それから6年後の1940年2月24日土曜日の『St.Louis Star and Times/セントルイス・スター&タイムズ紙』は、ヒトラーが引用され、（ヒトラーを引用しています。）“議会制民主主義体制は、ユダヤ人やあらゆる悪しき要素にとってパラダイスだった。敵対勢力を壊滅させるのではなく、むしろ吸収するような革命を起こすのだ。当時、指揮を執っていたのは劣った人格者ばかりだった。ドイツ国民は彼らの失敗とは何の関係もない。ドイツ国民自身を支援し、帝国の守護者となるよう育てなければならなかった。”・・・ “ライヒ”という言葉を知っていますか？ 腰のポケットにしまっておく（裏にある影響・支配）ように言った、あの言葉を引っ張り出してください。女性方はお財布から。帝国です。（ナチス・ドイツの国家）帝国です。王国。王国です。・・・彼らの帝国の守護者となるためには、（ヒトラーを引用しながら語っています。）“我々はこの力を動員できるような状態を作り出さなければならなかった。”ナショナリズムと社会主義は再定義され、“ドイツを再び偉大な国にする”という新たな力を担う、ひとつの強力な新思想に融合されなければならなかった。”つまり、こういうことです。当時のドイツと現在のアメリカには類似点があります。しかし、それはあなたが考えるような類似点ではありません。また、私たちが間違っただけで済んでいるような類似点でもありません。これは冗談ではありません。繰り返しますが、本土にいる私の友人の牧師は、ドイツの教会の多くが、ナチスとヒトラーの悪に立ち向かえなかったというこのシナリオについて、最も良いことを言いました。引用します。

「ヒトラー出現の責任を、ドイツ教会に負わせるのは、不正確なまでに単純主義的だ。歴史家が何よりも認めていることは、第一次世界大戦を終結させ、ヒトラーのような権威主義的ドイツ民族主義者が権力を握ることを事実上保証したのはヴェルサイユ条約であること。そして、第二次世界大戦が起こったであろうこと。著者のクラウディア・クーンズは、『ナチスの良心』という本の中で、ヒトラーが訴えたのは憎しみではなく、ドイツ国民の根深い価値観であったと述べている。つまり、ドイツ教会が失敗したのは、より政治的になったからではなく、イエス・キリストの弟子を作ることには失敗した。（ため息）実際のところ、ドイツ教会のかなりの部分が、敬虔かつ民族主義的な理由だと考えヒトラーを支持していた。”神と国家”最後に、考えるべき9つの質問を投げて締めくくります。その理由を、私が説明することで理解してもらえればと思います。9、そう、9つです。90の質問をすべきだったでしょう。そして、9しかないなら、ずっと

少なく思えるでしょう？ では、9つの質問です。

質問1：そこにユーモアを挿入したかったの。私にそれを許してくださるのを忘れないでね。考えてみてください。これらの質問を通して考えてみてください。この質問について、聖霊があなたの心の奥深くに自由にアクセスできるようにしてください。

質問1：あなたは、地上の人間の王国のために戦っているのか、それともイエスの天の王国のために戦っているのですか？

質問2：あなたは、反撃してこの国を取り戻すことは勝ち戦だと本当に信じているのですか？

質問3：アメリカの魂を救うため戦っているのか、それともアメリカで救われていない魂を救うため戦っているのですか？

質問4：CNとNARの戦いは、真のキリスト教を世俗的な目的の手段として悪用していると思いますか？

キャリンが言ったように、彼らはただ、イエスの御名を貼り付けているだけ。キリスト教を貼り付けているだけ。「おお、あなたたちはクリスチャンなのね。」いいえ、違います。私のリサーチで、再度言いますが、かなりの時間を費やしました。というのは、これは、神は、コロナとワクチンのすべてに関し、私の心を整理するためこのことを使ってください。今、納得し始めているのは、弁解ではなく、説明ですけど、おお、なぜあなたが反対せず推進するのか、今わかりました。なぜなら、私たちは"敬虔な"指導者を選ぶことによって反撃し、国を取り戻さなければならない、という偽りのシナリオにピッタリだから。彼らを政界に送り込み、そして、社会の柱、これら7つの帝国を支配するのだから。ですから、このことは私にとって、非常に目からウロコで、非常にしっくりきました。ただ、私の心を分かち合っているだけですが、彼らはそれを侵害し、利用しています。- これは非常に強い言い方ですけど - 彼らはキリスト教をレイプしています。悪いけど。彼らはキリスト教に暴行を加えています。キリスト教につけこんでいます。

何の目的で？ 彼らの目的のため。彼らの目的とは？ 主導権を握り、権力の座につくこと。そのために、クリスチャン・ラベルを使える。キリスト教だから。キリスト教ナショナリズム (CN)：ナショナリズムを排除するのは、それがキリスト教だから。だから、彼らはクリスチャンのラベルを貼った。彼らは何をしてきたのか？ そう、再度、キャリンが上手に述べたのは、彼らはイエスとイスラエル、神の選民から完全に焦点を外し、今はアメリカのことばかり考えている。それはアメリカの福音です。それについてはまた後で話します。もう締めくくります。

質問5：あなたの政治的、国家的関与は、どんなレベルであれ、人々をイエスのもとに導くものなのか、それともイエスの御名において人々を利用するものなのか？

質問6：国を愛することが偶像崇拜となり、国が救い主よりも大切になっていないか？

質問7：あなたは、"私たちと彼ら"、"左派對右派"というプロパガンダのうちにある、CNとNARが作り出す悪魔的な分裂に、そんなに気づかないのか？

それに気づきませんか？ これからこのユダの19節を学びますが、彼らは人々を分裂させる。そういう人たちが人々を分裂させる。それって悪魔的ではないですか？ 感情的になりたいわけじゃありませんよ。これは非常に必要な強さで、イエスが仰ったからです。悪いのですが、イエスが何と仰ったか聞くのに聖書に行きますけど、イエスは仰いました。

「もし家が内部で分裂したら、その家は立ち行きません。」(マルコ 3：25)

団結すれば立ち行き、分裂すれば倒れる。ああ、だからか。それがサタンの手口です。アメリカ合衆国の崩壊。失礼、アメリカ分裂国です。これは質問の一つではないけれど、悪いのですが、挿入していいですか？ 私たちはこれまで以上に分裂していると思いますか？ クリスチャンについての意味です。私たちはキリスト教として、これまで以上に分裂していると思いますか？ (会衆：はい！) そうですね。

質問8：CNとNARによって作られたこの分裂が、イエスを人々に、人々をイエスに導く上で、あなたを無

力にすることを理解していますか？

ちょっと説明させてください。そう、もし私がキリスト教ナショナリズムとして猛烈な勢いで入り込み、そしてここに、LGBTQ のライフスタイルの欺瞞にとらわれている人がいたら、キリストの御名において彼らと戦うのなら、どうやってキリストのもとへ彼らの魂を勝ち取れるのですか？ だって、彼らは敵でしょ？ いいえ、彼らは敵ではありません。彼らは宣教対象です。最後の質問9、

質問9：あなたは、福音が、イエス・キリストの真の福音ではなく、共和党の福音、アメリカの福音、保守派の福音という嘘を信じたのですか？

これこそ、パウロが、ガラテヤの諸教会に泣きながら訴えた、別の福音に関する話です。誰かが別の福音を携えて、天上から御使いとしてやって来ても、（それ御使いじゃなく悪霊です。）私は気にしません。他の福音などありませんから。しかし、私たちは福音をアメリカの福音へと国有化してしまいました。じゃあ、私の生まれ故郷のレバノンのベイルートの人はどうなるの？ 彼は何をするのか？ ベイルートを再び偉大にするの？ それは通用しません。あなたは何のために戦っているのですか？ 私は、家族に水を手に入れるため今日も戦っています。ちなみに、これがレバノンのベイルートでのこんにちの現実ですよ。まるで別の福音で別のイエスに人々を導こうとしているようです。それは聖書のイエスではありません。これは「戦士イエスだ。」ですよ。最後に、どうか分かってください。私がこのために『アップデート』全体を費やすのは、私たちの人生がそれに懸かっているからです。この終わりの時に、私たちがどのようにイエスのために人生を生きるかは、今私が投げかけたような質問にどう答えるかにかかっています。そう、もし私があの種の人なら、そうなると、私の焦点は完全にぼやけます。携挙は保留され、その前にやるのがたくさんあるから、私たちは戦わなければならない。私たちは選挙で投票しないといけない。なぜなら、結局、福音ではなく、それが人々の生活を変えるから。福音には、私のような者を受け入れる力はないから。40年以上も前、19歳の時、薬物中毒者で、薬物の売人。誇りに思っていない。私の脳細胞は.....文字通り、多くの脳細胞をダメにしました。聖書を最初から最後まで読むことは、私にとって本当に難しいことでした。自分の脳の多くを破壊してしまったから。神は、神はイナゴが食べた年月を回復させてくださいました。神は私の思考を回復させてくださいました。でも、私のような男でも可能なのは、政治的な選挙を通じてではなく、イエス・キリストの福音の力によって、神は、私のような男でも可能になされます。神が私を救ってくださいました。それが「福音」です。敵が嫌うのも無理はありません。敵がそれにとって代わろうとするのも無理はありません。敵は、それが決め手だと知っているからです。

イエス・キリストの福音です。「福音」とは何か？ イエスが（地上に）来られ、十字架で死なれ、葬られ、3日目によみがえられ、そして、ある日もうまもなく、イエスは戻ってこられます。それが、イエス・キリストにのみある救いの福音です。

「救いのABC」は、シンプルな、子供にでも分かる救いの説明です。形式ではありません。限定方法ではなく、イエスを必要としている人にイエスを分かち合うためのひとつの方法です。人々はイエスを必要としています。

A：自分が神に背いた罪びとだと、Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

罪びとだから救い主が必要なのです。

ローマ人への手紙3章10節、

「義人（正しい者）はいない。一人もない。」

あなたは良い人かもしれませんが、（神の御目から見て）十分良くはありません。ローマ人への手紙3章23節がその理由、

「すべての人（私たち誰しも）は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

私たちは皆、的が外れています。それが罪という言葉の意味で、アーチェリー用語です。罪を犯していて、的が外れている。神の完全な義の基準に届いていない。私たち誰しもが罪びとなのです。掟を破って、有罪が確定しているので、

判決を受けます。どんな判決なのか？ 死刑の宣告です。

ローマ人への手紙6章23節、

「罪の報酬は死です。・・・でも、良い知らせがあります。・・・しかし、神の賜物（贈り物）は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」

その良い知らせというのは、イエスがあなたへのこの贈り物の全額を支払ってくださったということ。それが良い知らせ・福音です。それが「福音」の意味です。「良い知らせです！ あなたの罪の罰則は支払われました。あなたは自由です！」

子（イエス）があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由になるのです。（ヨハネ 8：36）

次にBです。大変中心で、シンプルです。B：あなたの心で、Believe/信じる。信じることは、信頼を置くことです。イエス・キリストの人となり、十字架上の完成された御業に。ローマ人への手紙10章9節、「あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせた」と信じるなら、（非常に重要→）あなたは救われるからです。」こんなものではありません。「あ、神を信じてるよ〜。」じゃあ、おめでとう。

「ですが、悪霊どもも信じて、身震いしています。」（ヤコブ 2：19）

地獄には無神論者はいませんよ。悪霊どもも信じて、身震いしています。この信じるとは、そういうものではありません。これは救いの信仰です。あなたの心に、イエス・キリストの救いがあることです。すると心にあることが、口から出てきます。心に溢れることが、口から出てくるのです。（マタイ 12：34参照）

それがCです。C：主の御名をCall/呼び求める。Confess/告白する。

また、ローマ人への手紙10章9節、

「あなたの口でイエスを主と告白し、・・・」『すべてが膝をかがめ、すべての舌が「イエス・キリストは主の主、王の王です」と告白する時がきます。』（ピリピ 2：10～11参照）

すべてが膝をかがめる。でも問題は、その時には救いではなく、彼らがそうするその時は、永遠の天罰のためです。でも今はまだ、自分が心の中で信じ、「イエス」を口で告白する時間があります。今は永遠の天罰のためではなく、救いのためです。

ローマ人への手紙10章13節、

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

それが救われる方法です。それほどシンプルなのです。子供にでもわかるシンプルさです。今日の"しかし、神は。"の証の代わりに、ステファン・パスカルさんから受け取った短いメールを紹介することにしました。実は、少し前にもらったメールです。今日のアップデートに適切な内容だと思います。「親愛なる J.D.牧師へ。私はコメントしたく、このメッセージであなたを励ましたいと思います。もう7年以上もあなたの教えを聴いています。（お可哀想に。）私はあなたのミニストリーが成長するのを見てきました。あなたが社会的名声の誘惑に負けなかったのを見て、とてもワクワクしています。あなたは神の御言葉を守っておられます。あなたは牧師で、報道キャスターではありません。・・・なかなか良いですね。（賛美リーダー）歌を作りたい？ 分かりませんが、言ってみただけ。響きがいいから。このメールの続きは、・・・コロナ以来、あなたは他の人たちと共同の働きを一切していないことが分かります。でも、あなたは神の御言葉を忠実に説きながら、私たちに時事問題を教えてくれています。あなたは私を勇気づけてくださいました。あなたが言ったように、政治的な"右派対左派"といった雑念をすべて手放すことで、ものすごい自由があります。まっすぐな道、狭き道を歩んでください。キリストにあつて心から。ステファン・パスカルより。」

カポノ、上がってきてください。皆さんご起立ください。祈りと賛美で締めくくります。すべての栄光は神のものです。彼が言っているのは、私が2019年に下した、すべてから自分を切り離し私が牧師の特権に与るこの素晴らしい教会に専念する決断のことです。私がこれを言うのに飽き飽きしないでほしいのです

が、いくら言っても言い尽くせないのは、このようなことが言える牧師はほとんどいません。でも、あなたたちのおかげで.....あなたたちは牧師の仕事を喜びにしてくれています。あなたがたは素晴らしい教会です。

私は2019年、神が私に牧師としての特権を与えてくださったこの教会に集中する決心をしました。それが理由です。レールを外れていくような感じもしました。そして2020年が始まり、レールから外れました。そのレールに戻るつもりはありません。もう4年になります。正直なところ、あと何年もあるとは思えません。私たちはそういう時点にいます。終わりは近いのではなく、ここにいます。これが終わりです。実は、なぜ私がこの聖書預言・アップデートをどんどん長くしているのかを説明するための前置きでした。

— (笑) — 先週述べましたが、なぜなら、私の最後の聖書預言・アップデートになるかもしれないし、皆さんにとってもですよ。だから、そうなっているのです。オーケー、期待したほどうまく伝わらなかったね。祈りましょう。

お父様、ありがとうございます。これはかなり重く、辛い内容でした。私がそれを届けるのが難しいなら、それを受け取るのは本当に難しいはずだと分かっています。しかし主よ、そこが聖霊の来られる時で、私たちは聖霊が来てくださることが切実に必要です。そして、私たちの人生に必要なところへと導いてくださいますように。私たちはこのことが、この終わりの時をどう生きるかに大きな影響を与えることを知っているからです。主よ、私は祈ります。この件に関して、教会や所属教会、牧師たちからの混ぜこぜのメッセージに落胆し、少し混乱している人がいるかもしれません。神よ、私たちが皆、聖書に立ち返り、あなたの御言葉に立ち返ることができるよう。それが真理だからです。私たちは、あなたの真理を真理とし、そこにしっかり錨を下ろすのです。イエスよ、ありがとうございます。主よ、私たちはあなたを愛しています。イエスの御名によって。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7